

令和7(2025)年2月1日～2月28日に那須塩原市で実施

住民参加型

野生動物への「無意識な餌付け」 ストップキャンペーン

エサの少ない冬場に1ヶ月間実施

果実や野菜の残渣・生ゴミが野生動物のエサになっています



追い払うのは対症療法で
根本解決になりません



商品にしない果実を摘果しましょう



餌になりそうな果実や野菜は土に埋めて発見させないよう
にしましょう

冬にエサとなるものを減らすことが
野生動物の個体数削減に繋がります



ゴミが散乱しない
工夫をしましょう



©CrowLab

エサの乏しい冬場に**野生動物**（サル、シカ、イノシシ、ハクビシン、カラスなど）にとってのエサとなるものを徹底的に管理し、効率的に野生動物の個体数をコントロールすることが「**野生動物への『無意識な餌付け』ストップキャンペーン**」の目的です。本キャンペーンには、畑の農作物の残渣をきちんと処分する（少なくとも土に埋める）、庭にできた果実を摘果する、生ゴミを徹底的に管理する、**エサを与えない**といった、住民の皆様のご協力が必要です。

エサの乏しい冬場に**一斉に行えば、短期間だけでも効果がある**と考えられます。また、これらの取り組みを**継続して行うこと**によって、**人間と野生動物の共生の一助**になります。

ぜひ、住民の皆様のご協力をお願いします。

問い合わせ先：那須塩原市環境戦略部ネイチャーポジティブ課（電話：0287-74-2602）

那須塩原市野生鳥獣被害対策協議会